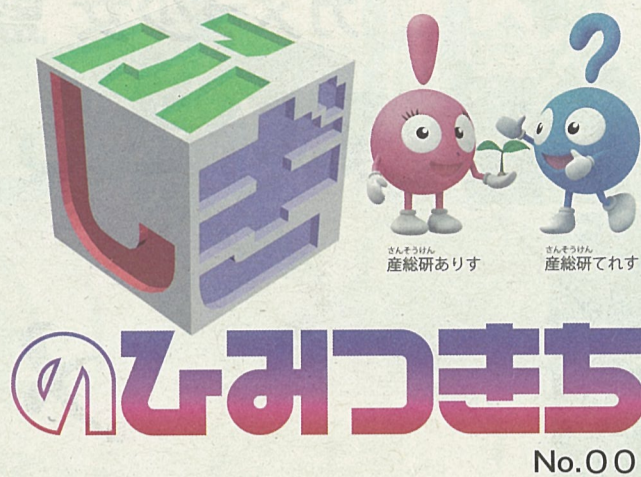


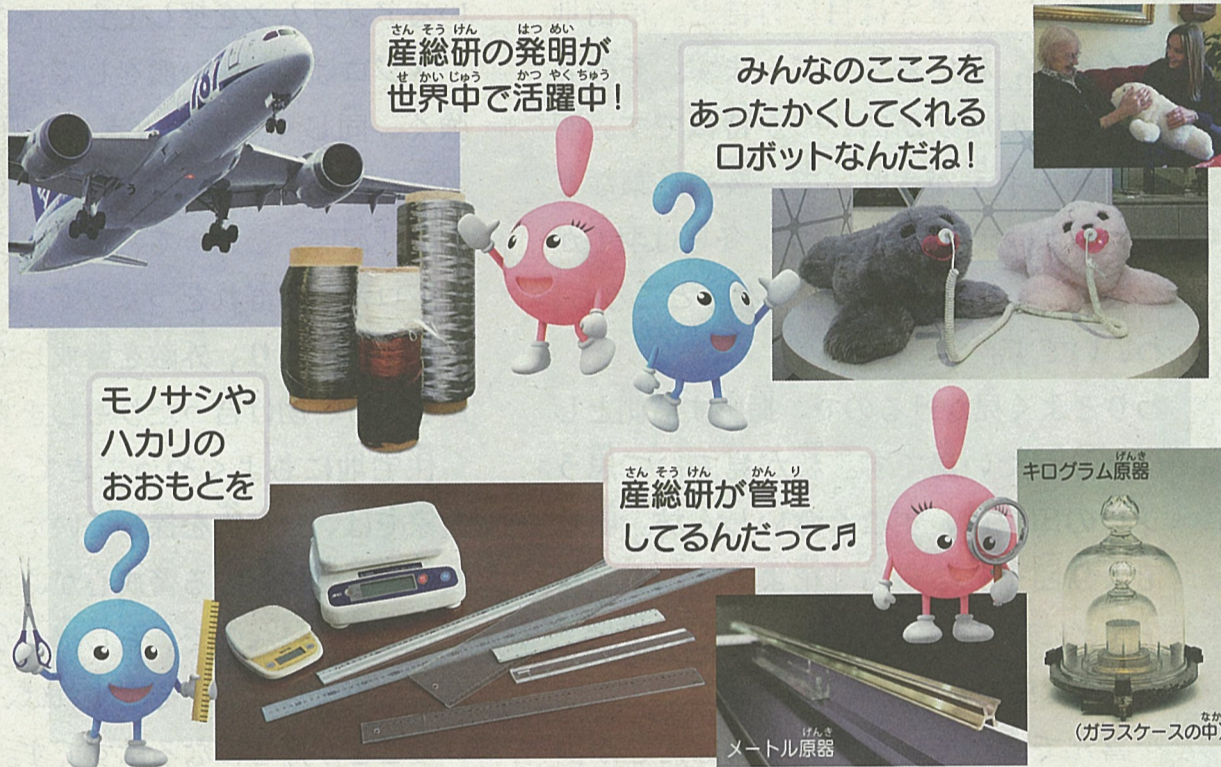
今回のテーマ

ワクワクを さが 探しにいこう！



なぜ？ なに！ 科学と技術の不思議がいっぱい詰まった「ふしぎのひみつきち」で学ぼう

はじめまして。私たちは「産総研ありす」と「産総研てれす」です。茨城県つくば市にある国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）からやってきました。これから毎週火曜日に、最先端の科学技術を研究している博士が私たちの身近な科学の「なぜ？」「なに！」を紹介することになったのであいさつをしにきたよ。よろしくね。



◇2300人の科学者が研究

産総研は、日本の産業や社会に役立つ研究をしている研究機関です。約2300人の科学者が日々、研究をしています。

それでは、私たちの研究を少しだけ紹介します。見た目も可愛いアザラシ型ロボット「パロ」。「世界で最もセラピー効果があるロボット」として、ギネス世界記録に認定されました。セラピー効果とは、薬などを使わず、心や体の不

調をいやす効果だよ。体にはセンサーがあって、光や声を認識して、なでられると気持ちが良いと感じて目を細めたりします。

次に、みなさんは飛行機に乗ったことはありますか？ 最近の機体には「炭素繊維」という軽さと強さを備えた素材が使われています。そのおかげで、より少ない燃料で同じ距離を飛

ばせるだけでなく、客室も広く快適になりました。

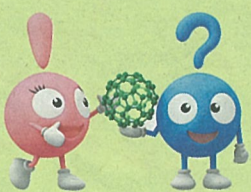
◇サイエンスがいっぱい

また、普段使っている「はかり」や「ものさし」は、なぜ正確かを考えたことはありますか？ キログラムやメートルといった単位は、世界共通の基準で、産業の発展や商売の取

引に必要です。少し前までは、重さは「キログラム原器」、長さは「メートル原器」が基準となっていました。そういった単位を管理・研究している国内唯一の機関なのです。

こんなふうには私たちの身の回りにはサイエンスがいっぱいあります。産総研で研究している新しい技術にも触れながら、一緒に学んでいこうね！

今日の先生



産総研ありす（左）と産総研てれす

産総研サイエンスタウンのナビゲーター。子どもたちの「なぜ？」「なに！」といった疑問や、それについて「そうか！」「すごい！」などの感情がかたちづく、ココロの中に住む存在（くわしいことは、わかっていません）。地球よりも大きくなれるし、1ナ（10億分の1）よりも小さくなることもできる。

さんそうけんって？

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国11か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブサイトはこちら →
(さんそうけんサイエンスタウン)

